

- 第6期「科学技術・イノベーション基本計画」(2021～2025年度の5ヵ年)の5年目の年次戦略として、国内外の情勢変化や科学技術・イノベーションを巡る動向等を踏まえつつ、第6期基本計画の総仕上げを行うとともに、第7期基本計画に向けた議論の内容も踏まえて、科学技術・イノベーション政策におけるガバナンス強化の観点も含めて取組を推進する。

＜第6期基本計画の総仕上げとしての取組の推進＞

先端科学技術の戦略的な推進

● 重要分野の戦略的な推進

- ・ AIイノベーション促進とリスク対応の両立、次世代情報通信基盤の開発・導入の推進
- ・ 量子、フュージョンエネルギー、マテリアル、バイオ等の研究開発の推進
- ・ 健康・医療、宇宙、海洋、食料・農林水産、環境・エネルギー分野の推進

● 経済安全保障等に係る取組強化

- ・ K programによる研究開発支援
- ・ 安全・安心シンクタンク設立の具体化

● 研究開発・社会実装の推進

- ・ SIP、BRIDGE、ムーンショット型研究開発の推進
- ・ 災害対応力強化に向けた研究開発の推進

知の基盤(研究力)と人材育成の強化

● 国際卓越研究大学・地域中核大学の支援等

- ・ 国際卓越研究大学の第2期公募・助成開始
- ・ 地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージによる支援
- ・ 基盤的経費の確保、科研費等の競争的研究費を通じた研究力の一層の強化

● 研究施設高度化、オープンサイエンス推進

- ・ 研究施設の高度化・共用化の推進
- ・ 学術論文等のオープンアクセス化の推進

● 人材の育成・活躍促進

- ・ 産学によるアクションプランを踏まえた産業界における博士人材の活躍促進

イノベーション・エコシステムの形成

● 研究開発型スタートアップ支援

- ・ SBIR制度等による継続的な支援
- ・ スタートアップからの公共調達促進

● 都市・地域・大学等の連携

- ・ スタートアップ・エコシステム拠点都市の強化・グローバル化支援
- ・ 産学連携、オープンイノベーションの推進
- ・ グローバル・スタートアップ・キャンパス構想の推進

● 人材・技術・資金の好循環促進

- ・ イノベーションを支える人材の育成等

＜第7期基本計画に向けた議論の内容も踏まえた取組の推進＞

経済安全保障との連携強化

- ✓ 重要技術の研究開発の推進
- ✓ グローバル戦略の推進
- ✓ 研究セキュリティ・インテグリティの取組の徹底

研究力の強化、人材の育成・確保

- ✓ 大学等の運営・研究基盤の強化
- ✓ 人材の育成・確保、若手研究者の支援
- ✓ 国際頭脳循環、研究の国際化の推進

イノベーション力の向上

- ✓ 地域イノベーションの推進
- ✓ 知財・国際標準戦略の推進
- ✓ 重要技術領域の研究開発投資促進等

(参考)「統合イノベーション戦略」について

- 「統合イノベーション戦略」は、「科学技術・イノベーション基本計画」に基づく年次戦略として、毎年策定しているもの。
- 基本計画において示された中長期的な政策の方向性を踏まえつつ、特に重点を置くべき施策等を取りまとめているもの。

＜第6期「科学技術・イノベーション基本計画」（2021～2025年度）における統合イノベーション戦略の概要＞

統合イノベーション戦略2021

重点施策として以下を推進。

- ・安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会への変革
- ・知のフロンティア開拓、研究力の強化
- ・多様な幸せと課題挑戦を実現する教育・人材育成
- ・官民連携による分野別戦略
- ・資金循環の活性化
- ・司令塔機能の強化

統合イノベーション戦略2022

科学技術・イノベーション政策の3本の柱として、

- ・知の基盤（研究力）と人材育成の強化
- ・イノベーション・エコシステムの形成
- ・先端科学技術の戦略的な推進

を掲げるとともに、分野別戦略間の連携により、勝ち筋に直結する研究開発を推進。

統合イノベーション戦略2023

科学技術・イノベーション政策の3つの基軸として、

- ・先端科学技術の戦略的な推進
- ・知の基盤（研究力）と人材育成の強化
- ・イノベーション・エコシステムの形成

を掲げるとともに、これらを支える国研・FAの機能強化等を推進。

統合イノベーション戦略2024

3つの強化方策として、

- ・重要技術に関する統合的な戦略
- ・グローバルな視点での連携強化
- ・AI分野の競争力強化と安全・安心の確保

を推進するとともに、従来からの3つの基軸についても引き続き着実に政策を推進。

(参考)第6期「科学技術・イノベーション基本計画」の進捗状況

- 現在、第6期「科学技術・イノベーション基本計画」(2021年3月26日閣議決定)を踏まえ、具体的な取組として、①先端科学技術の戦略的な推進、②知の基盤(研究力)と人材育成の強化、③イノベーション・エコシステムの形成の3つの柱を基軸に、取組を推進している。
- 具体的には、経済安全保障重要技術育成プログラム(K program)の開始や、10兆円規模の大学ファンドの創設・東北大学への助成開始、SBIR制度の抜本的な拡充などに取り組んでいる。

先端科学技術の戦略的な推進

<分野別戦略に基づく取組>

- AI戦略会議・AI制度研究会 中間とりまとめ(2025年2月)
- 人工知能関連技術の研究開発及び活用に関する法律案(AI法案)(2025年2月閣議決定)
- 量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センター(G-QuAT)(2023年7月設立)
- フュージョンエネルギー産業協議会(2024年3月設立)、安全確保の基本的な考え方(2025年3月決定)

<安全・安心の確保に向けた取組>

- K programの開始(2021・2022年度補正予算計5,000億円)、研究開発ビジョン(第一次:2022年9月策定、第二次:2023年8月策定、2025年3月改定)
- 安全・安心に関するシンクタンクの設立準備

<研究開発・社会実装の強化>

- SIP第3期(2023~2025年度当初予算までの計840億円)、BRIDGE(2023~2025年度当初予算までの計300億円)
- ムーンショット型研究開発制度の推進(2018年度補正~2024年度補正予算までの計4,114億円)

知の基盤(研究力)と人材育成の強化

<研究基盤の強化と大学改革>

- 10兆円規模の大学ファンドによる国際卓越研究大学への支援(2025年2月、東北大学への助成開始)
- J-PEAKSの採択(計25件)など、地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ(2025年2月更新)による支援

<人材育成・活躍促進>

- 産学によるアクションプラン取りまとめ(2024年7月)など、産業界における博士人材の活躍促進

<同志国・パートナー国との連携>

- 国際連携(G7仙台科学技術大臣会合等)
- オープンアクセス基本方針(2024年2月策定)
- 研究セキュリティ・インテグリティの確保(ガイドライン策定に向けたモデル事業の実施(2025年2月公募開始))

イノベーション・エコシステムの形成

<スタートアップ育成>

- グローバル・スタートアップ・アクセラレーションプログラムの推進
- スタートアップ・エコシステム拠点都市(8拠点)の機能強化
- SBIR制度抜本拡充(2022年度補正予算2,060億円)
- スタートアップの公共調達促進
- グローバル・スタートアップ・キャンパス構想基本方針(2024年8月策定)